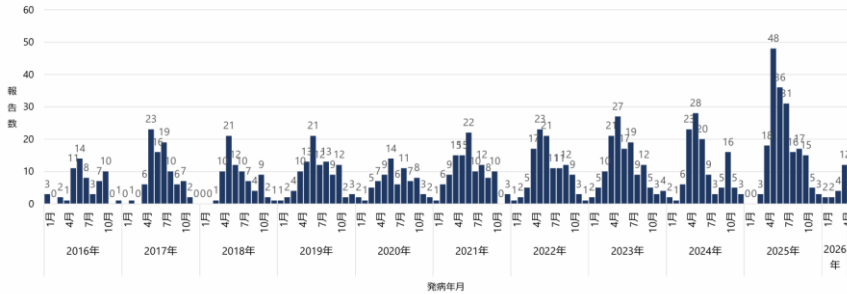


感染症だより

能登中部保健福祉センター
令和8年8月25日 発行

重症熱性血小板減少症候群（SFTS）が増加傾向です！！

2016年1月以降に届け出られたSFTS症例の発病時期(2026年4月30日現在)



出典：JIHS「感染症発生動向調査で届出られたSFTS症例の概要」

SFTSは、SFTSウイルスを保有するマダニに刺されることで感染します。

2016年までは年間60例前後で推移していましたが、**2017年以降は増加傾向**にあります。

JIHSは7月21日、今年の累計患者数が**104人**になったと発表しました。これは過去最多を記録した昨年の同時期（110人）に近いペースでの増加となっています。

- 潜伏期間：6～14日
- 主な症状：発熱、全身倦怠感、消化器症状
重症化し死亡することもある
（致死率10%～30%）
- 治療：対症療法が主体だが、抗ウイルス薬であるファビピラビルの使用が
2024年6月に承認された

石川県の発生状況

【人への感染】

2015年に2件のSFTS患者が確認されていますが、それ以降は患者の発生はありません。
2015年に確認された患者の感染推定地は、金沢市・志賀町となっており、石川県にもウイルスが侵入していることが考えられます。

【犬や猫への感染】

令和7年度に2例、猫への感染が報告されています。感染した猫は室内外で放し飼いにされています。

SFTSを疑ったら...

SFTSの病原体検査は、**行政検査**として実施されます。ダニ媒介感染症の行政検査を実施する場合、**3疾患（SFTS・日本紅斑熱・ツツガムシ病）を同時に検査**しています。
疑いのある患者がいる場合は、**保健所に連絡**してください。保健所から病院へ検体容器を持っていくこともできます。

☆必要な検体：血液(EDTA)、痂皮

診断が確定した場合

SFTSは4類感染症に分類されます。
患者を診断した医師は直ちに最寄りの保健所に**発生届を提出**する必要があります。
<https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/001681367.docx>

SFTSの詳細についてはこちら
(石川県ホームページ)

<https://www.pref.ishikawa.lg.jp/yakuji/doubutsu/madani.html>

院内感染を防ぐために

SFTSのヒト→ヒト感染は基本的には**接触感染**であり、患者のケアには**接触予防策を講じることが原則**です。医療従事者の感染事例において、ほとんどの場合で予防策が遵守されずPPEの装着が不十分であった可能性が指摘されています。
適切なPPEの装着により感染を防ぎましょう。



エアロゾル発生手技を行う際は、N95マスクを着用

- ・マスク
- ・アイガード
- ・ガウン
- ・手袋

汚染されやすいため
二重手袋やエプロンの追加が重要

出典：重症熱性血小板減少症候群(SFTS)
診療の手引き2025